

総 括

平成25年度は、あり方検討委員会提言に対するアクションプランに基づき、社会福祉協議会として取り組むべき各事業に順次、着手した。

法人の運営体制においては、改正した理事選任規程に基づき、広く各分野からの参画を図った役員体制のもとで社協事業を推進した。会員の募集については、本会の取り組む事業への理解を進めるため自治会の会議等に積極的に出向き、社協事業を紹介し会費協力者の増加に努めた。あり方検討委員会からの提言項目に対する取り組みの進捗管理のため、新たに「あり方検証委員会」を立ち上げた。

地域で暮らし続けるためのサービスと仕組みづくりにおいては、単独では公共交通機関を利用することが困難な身体障がい者や要介護者などの移動制約者の支援を行う福祉有償運送事業を立ち上げるため、運営協議会への説明、申請手続きなどを進めた。障がい者の支援の取り組みでは、指定特定相談支援事業者としてサービス利用計画の作成を始めた。介護保険サービス、障がい福祉サービスにおいては、利用者本位で質の高いサービスの提供に努めた。

地域を支える人づくりとしては、その地域・その人の暮らしにくさを共感し、住民相互の助け合い活動を基本に解決方法を考え実践していく仕組みづくりを進めるためにモデル地区を設定し、地区座談会の開催を始めた。

地域福祉の基盤づくりにおいては、社協広報「ふくしのわ」やホームページにより地域福祉活動の紹介、社会福祉、ボランティア等の情報発信に努めた。また、新たな取り組みとして福祉への理解を広め深めることを目的に「福祉のつどい」を開催した。

I. 法人の運営体制の強化

【共】 = 共同募金配分金事業

実施項目	概要
<p>1 役員会・評議員会の開催・監査の実施</p>	<p>執行機関である理事会、議決機関である評議員会、信頼性・安全性を確保するための監査を実施し、適正に運営できるように組織機能を充実した。</p> <p>(1) 理事会</p> <p>4月1日(月) ① 会長の選任について ② 副会長の選任について</p> <p>5月30日(木) ① 平成24年度事業報告について ② 平成24年度一般会計決算について ③ 平成25年度一般会計収支補正予算(案)について ④ 評議員の選任について(補充選任) ⑤ 職員就業規則の改正について ⑥ あり方検証委員会による提言書にかかる月次スケジュールについて</p> <p>9月25日(水) ① 職員体制について ② 平成25年度事業実施状況 ③ 平成25年度経理状況 ④ 東員町による監査の指摘事項 ⑤ あり方検証委員の委嘱について ⑥ 苦情解決第三者委員の委嘱について ⑦ 歳末たすけあい募金および歳末たすけあい配分金事業について ⑧ アクションプラン進捗状況 ⑨ 経理処理について</p> <p>12月25日(水) ① 職務代理者の指名について ② 個人対象助成事業について ③ 公益活動団体助成事業について ④ 平成25年度一般会計収支補正予算(案)について ⑤ 評議員の選任(補充選任)について ⑥ 事務局規程の改正について ⑦ 公的貸付調査委員会の改正について ⑧ 東員町社会福祉協議会あり方検討委員会経過報告について ⑨ 監査の指摘事項について ⑩ 地域福祉活動基盤整備事業について ⑪ 経理処理について ⑫ 福祉有償運送について</p> <p>平成26年 2月24日(月) ① 評議員選任規程の改定について ② 事務局規程の改正について ③ 公的貸付調査委員会の改正について ④ 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の改定について ⑤ ふくしdeまちづくりプロジェクトの進捗状況 ⑥ 地域福祉活動に対する助成事業について ⑦ 県の監査指摘事項への対応について ⑧ 福祉有償運送について ⑨ 福祉基金の用途について</p> <p>3月26日(水) ① 定款の変更について ② 評議員の選任について(補充選任) ③ 評議員の選任について(任期満了) ④ 平成25年度一般会計収支補正予算(案)について</p>

- ⑤ 平成26年度事業計画(案)について
- ⑥ 平成26年度一般会計収支予算(案)について
- ⑦ 平成26年度予算中の経理区分内流用と予備費の充用について
- ⑧ 経理規程の変更について
- ⑨ 福祉基金及び介護事業等積立金の使途について

(2) 理事研修など

- 8月27日(火) 職員全体研修会と一緒に参加
- 11月28日(木) 小地域福祉サミットに参加
- 平成26年
- 1月15日(水) 障がい児者の地域生活に関する研修に参加
- 1月20日(月) コンプライアンスに関する研修に参加

(3) 評議員会

- 5月30日(木)
 - ① 平成24年度事業報告について
 - ② 平成24年度一般会計決算について
 - ③ 平成25年度一般会計収支補正予算(案)について
- 12月25日(水) ① 平成25年度一般会計収支補正予算(案)について
- 平成26年
- 3月26日(水)
 - ① 定款の変更について
 - ② 平成25年度一般会計収支補正予算(案)について
 - ③ 平成26年度事業計画(案)について
 - ④ 平成26年度一般会計収支予算(案)について
 - ⑤ 平成26年度予算中の経理区分内流用と予備費の充用について
 - ⑥ 理事の選任について(補充選任)

(4) 監査

- 5月27日(月) 平成24年度決算監査
- 12月3日(火) 平成25年度前期監査
- 12月16日(月) 県による社会福祉施設指導監査

【今年度の成果】

- * 平成25年度4月1日から新たな理事選任規程による理事の構成で運営を開始した。
- * 理事会を増やして具体的な意思決定ができるようにした。
- * 新たな評議員選任規程を整備し、26年度から新たな構成で評議を実施できるようにした。
- * 新理事と職員が一堂に会して同じ研修を受けることにより社協の社会的役割について共通認識をもてた。

【今後の取り組み】

- * 今年度同様に理事会を開催して機動力を高める。
- * 評議員会で地域の住民、福祉・医療事業者・市民活動家などの意見を把握する。また、地域全体で地域福祉を推進できるよう社協の活動状況を評議員に説明する。

2	戸別会員・特別会員の募集	4~5月	戸別会費募集 2,950,837円(5,902世帯) 昨年比103%			
		7~8月	特別会費募集 804,000円(804口) 昨年比102%			
		①	5月8日(水)	白梅サロン(笹尾東3丁目)	参加者	40名
		②	6月28日(金)	鳥取長寿会	参加者	57名
		③	7月16日(火)	大木SC会	参加者	51名
		④	7月18日(木)	南大社ハッピー会	参加者	70名
		⑤	8月7日(水)	笹尾睦会	参加者	83名
⑥	8月22日(木)	筑紫自治会	参加者	23名		

	<p>⑦ 8月25日(日) 中上自治会 参加者 80名</p> <p>⑧ 8月28日(水) 笹尾東2丁目自治会 参加者 8名</p> <p>⑨ 9月11日(水) 笹尾西4丁目自治会 参加者 23名</p> <p>⑩ 9月14日(土) 城山1丁目自治会 参加者 23名</p> <p>⑪ 9月15日(日) 瀬古泉自治会 参加者 46名</p> <p>⑫ 10月20日(日) 八幡新田自治会 参加者 25名</p> <p>⑬ 11月12日(火) 穴太自治会 参加者 56名</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 地域のサロン活動等で本会組織や取組を説明し会員が増加した。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 引き続き地域に出向いて社協の活動を説明し、会員制度を理解いただくようにする。</p>								
3	<p>個人情報保護の徹底</p> <p>個人情報保護規程に基づき、全職員が適切に対応した。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 各部門で個人情報保護の重要性を周知し徹底する。</p>								
4	<p>苦情・要望の受付</p> <p>本会に対する苦情や要望について職員間で話し合い、適切・誠実に対応した。</p> <p>① 5月連関会議で苦情の受付とその対応、記録について話し合った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情を聞いた職員がまず対応し、たらいまわしにしないこと。 ・ 記録し、第三者委員に申し出るかどうかご意志を確認すること。 <p>② 苦情解決第三者委員</p> <p>7月1日(月) 任期満了に伴い下記の方に第三者委員を委嘱した 尾宮次男氏 小川幸子氏 委嘱に伴い、説明会を行った。</p> <p>③ 受け付けた苦情等</p> <table border="1"> <tr> <td>5月28日(火) 会費は強制なのか、おかしくないか。 〈一般町民から〉</td> <td>説明したが途中で電話を切られた。全職員が対応できるように想定問答集を作成した。</td> </tr> <tr> <td>5月30日、6月3日(月) 民生委員は個人情報をごどこまで知っているのか。基本チェックリストの内容も知っているのか。 〈一般町民から〉</td> <td>民生委員の業務内容と個人情報の保護を説明。基本チェックリストの内容は民生委員に提供されないことを説明した。</td> </tr> <tr> <td>7月10日(水) 男性用浴槽が汚れている。 〈一般入浴者から〉</td> <td>役場(センター管理者)に伝え、清掃を徹底していただくようシルバー人材センターに伝達した。</td> </tr> <tr> <td>8月19日(月) ヘルパーから気になる発言があった。 〈ヘルパー利用者から〉</td> <td>ヘルパー事業所の研修等で気をつけるように話してほしいとの希望。ヘルパーステーション管理者から本人に謝罪しヘルパーミーティングで全ヘルパーに伝えた。</td> </tr> </table> <p>今年度の成果と今後の取り組み</p> <p>* 5月の連関会議で決めた対応を具体的にとることができた。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 苦情には確実に対応し、職種を超えて共有し改善する。</p>	5月28日(火) 会費は強制なのか、おかしくないか。 〈一般町民から〉	説明したが途中で電話を切られた。全職員が対応できるように想定問答集を作成した。	5月30日、6月3日(月) 民生委員は個人情報をごどこまで知っているのか。基本チェックリストの内容も知っているのか。 〈一般町民から〉	民生委員の業務内容と個人情報の保護を説明。基本チェックリストの内容は民生委員に提供されないことを説明した。	7月10日(水) 男性用浴槽が汚れている。 〈一般入浴者から〉	役場(センター管理者)に伝え、清掃を徹底していただくようシルバー人材センターに伝達した。	8月19日(月) ヘルパーから気になる発言があった。 〈ヘルパー利用者から〉	ヘルパー事業所の研修等で気をつけるように話してほしいとの希望。ヘルパーステーション管理者から本人に謝罪しヘルパーミーティングで全ヘルパーに伝えた。
5月28日(火) 会費は強制なのか、おかしくないか。 〈一般町民から〉	説明したが途中で電話を切られた。全職員が対応できるように想定問答集を作成した。								
5月30日、6月3日(月) 民生委員は個人情報をごどこまで知っているのか。基本チェックリストの内容も知っているのか。 〈一般町民から〉	民生委員の業務内容と個人情報の保護を説明。基本チェックリストの内容は民生委員に提供されないことを説明した。								
7月10日(水) 男性用浴槽が汚れている。 〈一般入浴者から〉	役場(センター管理者)に伝え、清掃を徹底していただくようシルバー人材センターに伝達した。								
8月19日(月) ヘルパーから気になる発言があった。 〈ヘルパー利用者から〉	ヘルパー事業所の研修等で気をつけるように話してほしいとの希望。ヘルパーステーション管理者から本人に謝罪しヘルパーミーティングで全ヘルパーに伝えた。								
5	<p>事務局体制の充実</p> <p>各規程に基づく適正な事務運営に努めるとともに、職員ミーティングを行って各職員の職務に対する意識の向上や意思疎通の改善を行った。</p>								

① 社協内連関会議

各部門、担当者が行っている事業を連関させて地域福祉を推進していけるように、総務福祉係員、各事業所管理者が会議を行った。

- 4月3日(水) アクションプランとスケジュールについて
1年間の開催計画と開催目的についてなど
- 4月26日(金) 今年度の事業報告
研修計画
ふれあいセンターの管理についてなど
- 5月31日(金) 理事会評議員会の開催内容の報告
苦情の受付、職員研修計画について、障がい者計画相談の体制についてなど
- 6月28日(金) アクションプラン(4~6月)の実施内容と今後の計画を全員で確認。課題を抽出した。
- 7月2日(火) 福祉教育の意義と実施方法について協議した。
- 7月26日(金) アクションプラン進捗状況の確認
アクションプランの進め方
個別課題から地域課題を考える課題把握票についてなど
これ以降はアクションプランを総務福祉係主導で推進することに決めた。
- 8月27日(火) 伊賀市社協研修の報告
課題把握票による課題の協議→セーフティネット会議を開催することになる
防災訓練の際の要援護者台帳登録者訪問活動について
- 10月1日(火) 連関会議等、社協内会議の整理
連関会議→主任以上が出席する役席会議に変更することになった。

② 総務福祉係内の協議

- 7月12日(金) 個人助成、当事者団体助成の方針
- 7月18日(木) 災害ボランティアセンター、福祉教育について
- 7月24日(水) 地域福祉活動基盤整備事業(修正案)について
- 9月3日(火) 見守りプロジェクトの進め方
福祉のつどい、セーフティネット会議など
- 10月2日(水) 福祉のつどいについて、災害ボランティアに関する講座についてなど
- 平成26年
- 1月22日(水) ボランティア保険の取扱いについて
ふくしdeまちづくりプロジェクトについて
福祉施策検討会議についてなど
- 2月4日(火) 福祉のつどいについて、災害ボランティアセンター事業について、ふくしdeまちづくりプロジェクト事業計画など
- 2月6日(木) ふくしdeまちづくりプロジェクトについて
一次介護予防事業について

③ スタンディングミーティング

各部門間の連絡を綿密に行い、他の部門の状況を把握した上で業務を遂行できるようにした。
毎週金曜日に行い、短時間で効率よく終わらせるため立ち会議スタイルにした。

【今年度の成果】

- * 部門を超えた意思疎通ができるよう毎週1回のスタンディングミーティングを開始することができた。

		<p>* 各事業を連関させるための連関会議を「役席会議」として新たに開始するように決めた。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 役席会議を開始し、スタンディングミーティングを定着させる。</p> <p>* 役席会議の役割を明確にし、社協内の会議を体系化する。</p>
6	寄付金の受付及び管理	<p>地域福祉を推進するための貴重な財源として、適切に管理した。ご寄付いただいた方の名前を行政広報誌・ホームページで公表した。</p> <p>寄付金額 2,967,885円 昨年比90%</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】</p> <p>今年度同様に適切に管理し、行政広報紙で公表する。</p>
7	あり方検証委員会の開催	<p>9月25日(水) 理事会であり方検証委員(8名)を選任 (平成27年8月31日まで委嘱)</p> <p>丸澤敏彦氏 久保真奈美氏 蒔田勝義氏 市川幹人氏 福本美津子氏 小川隆生氏 渡邊裕輔氏 古川朋浩氏</p> <p>11月27日(水) あり方検証委員会 アクションプランの実施状況を説明し、評議員選任や小地域福祉活動について意見をいただいた。</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* アクションプランの取り組みを見直すことができた。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* アクションプランを修正し新たに取り組む。</p> <p>* 委員会は年に2回開催する。</p>
8	防災委員会の実施	<p>① 訓練 12月10日(火) 職員対象避難訓練 平成26年3月28日(金) 通所介護事業利用者や来館者を含めた平日日中の発災を想定した避難訓練</p> <p>② 防災委員会 12月3日(火) 平成26年3月25日(火)</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 平日日中の発災を想定した訓練を実施できた。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 防災委員会を定例として開催し、職種を超えて対策を検討する。</p> <p>* 風水害対策計画を作成する。</p>
9	職員研修の強化	<p>個人別研修計画を作成し受講し知識と技術の向上を図った。</p> <p>① 全体研修会 8月27日(火) 講師/ 蒔田勝義氏 鈴鹿医療科学大学准教授 テーマ/「社協職員入門」 参加/37人 他に役場から6人、理事4人参加</p> <p>② 人権研修 平成26年 役場主催の人権研修を受講 講師/ 原田朋記氏 2月22日(土) 公益財団法人反差別・人権研究所調査・研究員 テーマ/「部落差別の解決を目指して」 参加/6人</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 個別の研修計画を作成して実施することができた。</p> <p>* 職員全体研修で職員の基礎知識として社協の社会的意義を学んだ。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 地域福祉に必要な知識や技術を習得する。</p> <p>* 研修参加者は学んだ知識や技術を他の職員に伝達し職員全体のレベルアップを図る。</p>

Ⅱ. 地域で暮らし続けるためのサービスと仕組みづくり

【共】 = 共同募金配分金事業

実施項目	概要
1 ひとり暮らし高齢者交流会 【共】	<p>在宅のひとり暮らし高齢者を対象に、交流を通じた閉じこもり防止や孤独感の解消、仲間づくりの機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託先/東員町民生委員児童委員協議会 6月27日(木) 場所/東員町保健福祉センターホール 内容/笑って健康講座、交通安全・振り込め詐欺予防講座 参加/74名 11月14日(木) 場所/東員町保健福祉センターホール 内容/歌声喫茶とビンゴゲーム 参加/79名 <p>【今年度の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 民生委員児童委員協議会が企画して開催できた。 <p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 民生委員児童委員協議会が地域に会場を移して開催する。
2 生活支援型配食サービス 【町-受託】	<p>在宅のひとり暮らし高齢者や要援護高齢者等に昼食を配達するとともに安否確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託先/社会福祉法人いずみ(調理、配達) 実施日/月曜日から金曜日の中で希望する日 個人負担金/300円 利用数/6,322食 昨年比114% 利用登録者/48名 昨年比96% 利用者の状況を民生委員や家族に連絡した件数 14件 (内、民生委員と共に状況確認した件数 2件) <p>【今年度の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 役場からの受託事業になった。 * 利用者が増え、食の支援をすることができた。 <p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 行政が決定した利用者に適切にサービスを提供する。
3 ふれあい型配食サービス 【共】	<p>ひとり暮らし高齢者を中心とした対象者に、ふれあいを目的に昼食を配達した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託先/わくわくボランティア、食生活改善協議会(調理のみ) (株)結(配達のみ) 実施日/第2・4火曜日と第1~4金曜日の希望する日 個人負担金/300円 利用数/1,180食 昨年比106% 利用登録者/30名 昨年比103% 食中毒講習会 6月7日(金) 内容/食中毒を防ぐための食品衛生 講師/桑名保健所 参加/23名 <p>【今年度の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 利用者が増え、食の支援をすることができた。 <p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 民生委員等から地域の声を聞き、利用者の実態を把握して事業を行う。
4 介護タクシー助成事業 【共】	<p>要支援認定者に介護タクシー券を発行し、外出が困難な高齢者の移動手段を支援した。(500円券×4回分/年)</p> <p>申請者/26名(申請率18.5%) 昨年比160% 契約事業所/6社</p> <p>【今年度の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 外出困難な高齢者の生活の利便性を高めた。 <p>【今後の取り組み】</p>

		<p>* 引き続き事業を実施するが、介護保険制度の要支援対象サービスの動向を注視して隙間のサービスとして役割を果たせるようにする。</p>
5	福祉有償運送	<p>訪問介護職員4名が講習を受講し運転資格を得た。平成26年1月20日に福祉有償運送運営協議会での協議を経た上で認可を受け、平成26年4月1日から開業する。</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 職員が資格を取得し、事業実施の準備を整えることができた。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 住民に事業を周知し、事業を軌道に乗せる。</p>
6	家族介護継続支援事業・家族介護教室【町-受託】	<p>毎月1回、介護から一時的に離れる機会を提供したり適切な介護方法を伝えることで家族の身体的精神的負担を軽減し介護者を支援した。実施の際は必ず座談会を催して交流を促した。</p> <p>①リフレッシュルーム(介護継続支援事業) 内容/ボディマッサージ、桑名・菰野の散策など 参加/延べ54名(内新規9名)</p> <p>②リフレッシュクラス(家族介護教室) 内容/オムツ・入浴・食事のヒント、確定申告の学習など 参加/延べ58名(内新規11名)</p> <p>③意見交換会 在宅介護者支援の方法、事業の展開方法について意見交換した。 開催日/ 9月12日(木) 平成26年2月17日(月) 出席者の所属先/ 紫苑、もも、パークレジデンス、 地域包括支援センター、ふれあい、</p> <p>④ 11月からメール会員登録を開始。5人登録。</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 新規参加者が増えた。</p> <p>* より気軽に参加いただくためのメール会員登録を始めた。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* メール会員登録を進める</p> <p>* 地域での開催を目指す。</p>
7	介護二次予防事業【町-受託】	<p>介護二次予防事業により把握された高齢者にして、介護予防の観点から以下の6種類のプログラムを提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護予防事業 開催98日/年 延べ参加数1336名 ・頭スッキリ「認知症」ストップ作戦～前期高齢者～ 開催10回 11月～3月 延べ参加数58名 ・頭スッキリ「認知症」ストップ作戦～後期高齢者～ 開催12回 11月～2月 延べ参加数26名 ・生活体力づくり～イスに座って体操します～ 開催12回 11月～2月 延べ参加数93名 ・生活体力づくり～イスから離れて体操します～ 開催10回 11月～3月 延べ参加数43名 ・お出かけ 生き生き生活 開催6回 11月～2月 延べ参加数38名 <p>【今年度の成果】</p> <p>* 複合型のプログラムの提供ができた。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 実施したプログラムに対して効果測定を行い、さらに効果的なサービスの提供を行う。</p>
8	訪問介護事業 介護予防訪問介護事業	<p>要介護及び要支援認定を受けられた方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「身体介護」「生活支援」のサービスを365日、24時間体制で行った。また、毎月ヘルパーミーティングを行い知識と技術の向上を図った。【資料1】</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 365日、24時間体制にてサービスの提供を行い、利用者のニーズに</p>

		<p>応えることができた。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 365日、24時間体制は継続していく。又、介護技術向上のためにも、定期的な研修を実施していく。</p>
9	通所介護事業 介護予防通所介護事業	<p>要介護及び要支援認定を受けられた利用者の方に入浴、食事、機能訓練等のサービスを提供し在宅生活を支援した。また、自宅での入浴が困難な利用者に対し特殊浴槽、一般浴での入浴を行い皮膚トラブルの早期発見や身体保清に努めた。理学療法士の計画による個別リハビリも実施し利用者の身体機能の向上維持に努めた。【資料2】</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 60代～70代の比較的若い利用者がリハビリ目的で利用される傾向にあり利用者増加のきっかけになった。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 利用者のニーズに応じたサービスの提供を行っていく。</p>
10	居宅介護支援事業	<p>利用者や家族の困りごとを傾聴し、利用者の望む生活に近づけるようにケアプランの作成を行った。又、利用者の状態に合わせた支援の提供をする為に、定期的な訪問や24時間対応による相談にも迅速に対応した。どのような相談にも応じることを基本にしている。さらに、ケアマネジャーのスキルアップの為に、一人ひとりの研修計画を立てて研修に参加し、週一回は事業所内での定例会議にてテーマに添った内容の検討を行い、ケアマネジメントの技術向上を図った。【資料3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定事業所加算の条件を整備している。 ・ 法令遵守の状況を毎月確認をしている。 ・ 医療と介護の連携の強化・推進を図ったケース 12件 ・ 認知症加算のケース 411件 ・ 独居加算のケース 24件 ・ 初回加算のケース 58件 <p>【今年度の成果】</p> <p>* 利用者の望む生活に近づくということを基本にケアプランの作成を行った。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 利用者のニーズに応じたケアプランの作成を目指し、研修への参加、又、事業所内での定例会議は実施していく。</p>
11	在宅重度障害者への助成	<p>身障手帳1級・療育手帳A所持者を対象に、自立生活の支援を目的に、1人あたり5,000円助成した。</p> <p>助成件数/身障手帳1級 52名 療育手帳A 16名</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】</p> <p>* 25年度で廃止</p> <p>* 福祉有償運送で移動支援をして社会参加を促進する。</p>
12	障がい者訪問介護事業	<p>障害者総合支援法に基づいて認定を受けた方が、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように「身体介護」「家事援助」のサービスを提供した。【資料4】</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 365日、24時間体制にてサービスの提供を行い、利用者のニーズに応えることができた。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 365日、24時間体制は継続していく。又、介護技術向上のためにも、定期的な研修を実施していく。</p>
13	日中一時支援事業	<p>障害者総合支援法に基づいて認定を受けた方に対し入浴、食事、軽度の医療行為、運動等のサービスを実施し在宅での生活を援助に努めた。</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 特別支援学校北勢きらら学園の生徒さんの長期休暇（春休み、夏休</p>

		<p>み) 中の受け入れが数名あり、個別のニーズに応じて介護サービスの提供を行った。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 利用者のニーズに応じて必要なサービスの提供を行う。</p>
14	障がい者の相談支援事業とサービス利用計画の作成	<p>相談支援専門員が、利用者の望む生活に近づけるようなサービス等利用計画を作成した。4月に特定相談支援事業者指定、12月に障害児相談支援事業者指定を受け、サービス等利用計画作成は7月より行った。【資料6】</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 事業を開始することができ、利用者の望む生活と障がい福祉サービスを捉えながら、サービス等利用計画書の作成を行った。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 利用者のニーズと自立に向けたサービス利用計画書の作成を行えるよう、スキルアップのための研修等への参加、関係機関との連携作りを実施していく。</p>
15	ひとり親家庭に対する教育費助成	<p>ひとり親家庭の教育費負担軽減を図るため、小学・中学・高校在籍の児童生徒1人あたり年額2万円を助成した。</p> <p>助成件数/43世帯・74名</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】</p> <p>* 25年度で廃止</p> <p>* 母子寡婦福祉会への参加を推奨して交流を促進する。</p>
16	ひとり親家庭入学卒業祝金の給付	<p>ひとり親家庭の教育費負担軽減を図るため、小学・中学・高校在籍の児童生徒1人あたり1万円を助成した。</p> <p>交付件数/40世帯・45名</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】</p> <p>* 25年度で廃止</p> <p>* 母子寡婦福祉会への参加を推奨して交流を促進する。</p>
17	ひとり親家庭ふれあい交流会 【共】	<p>ひとり親家庭間の情報交換や絆づくり、親子の思い出づくりを目的にテーマパークへの旅行を開催した。</p> <p>9月6～8日(金～日) 行先/東京ディズニーランド 参加/36名</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】</p> <p>* 親子どうしが知り合い共に楽しむ機会をつくることのできた。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 企画段階から当事者の参画を得て実施する。</p>
18	歳末たすけあい図書カードの交付 【共】	<p>ひとり親家庭における18歳未満の児童生徒に、1人あたり2,000円分の図書カードを交付し、学業を支援した。</p> <p>交付先/93世帯・154名</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】</p> <p>* 25年度で廃止</p> <p>* 母子寡婦福祉会への参加を推奨して交流を促進する。</p>
19	歳末応援費の交付 【共】	<p>ひとり暮らし高齢者、生活保護世帯に対し、見舞金として、ひとり暮らし高齢者は3,000円、生活保護世帯は5,000円を助成した。</p> <p>ひとり暮らし高齢者/275名 生活保護世帯/3世帯</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】</p> <p>* 25年度で廃止</p> <p>* 民生委員による見守りを充実する。</p>
20	心配ごと相談所と無料弁護士相談所の開設	<p>住民のあらゆる相談に応じ、適切な助言、関係機関の紹介等の支援を実施。また、無料弁護士相談を月2回(各5組)実施し、専門相談の充実に努めた。</p> <p>弁護士相談87件(3.6件/回) 一般相談6件(0.3件/回)</p> <p>【今年度の成果】</p> <p>* 相談員に民生委員を委嘱し、暮らしにくさを把握できるようにし</p>

		<p>た。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>* 地域の生活課題を把握したときには地域福祉推進協議会で検討する。</p>
21	地域で暮らすためのセーフティネットの構築	<p>制度やサービスに当てはまらない等少数の社会化されない福祉課題の解決に組織全体で横断的に取り組めるよう検討会を開催した。行政と歩調を合わせて地域福祉を推進できるよう東員町福祉施策検討会議および社協行政連絡調整会議を発足した。</p> <p>①社協行政連絡調整会議</p> <p>7月23日(火) 連絡調整会議の開催目的、開催方法、福祉有償運送の運営についてなどを協議した。役場からの参加は地域福祉課、長寿福祉課、町民課、健康保険課の4課になった。福祉施策検討会議は局長、課長が協議する場とし、3ヶ月に1回程度行うことになった。</p> <p>9月5日(木) 小地域福祉活動の目的・方針・進め方などを協議した。連絡調整会議の開催方針、個人対象助成事業について協議し定例で開催することになった。</p> <p>10月10日(木) 個人対象助成事業の終了、社協の地域見守りプロジェクトと長寿福祉課の見守りプロジェクトについて。今後お互いの活動を報告しあい、共有することになった。</p> <p>11月26日(火) 公益活動助成の終了を関連各課(危機管理課、政策課、社会教育課、環境資源課)に説明した。社協が取り組んでいく小地域福祉活動、ふくしdeまちづくり事業について情報提供した。</p> <p>平成26年</p> <p>1月10日(金) 福祉のつどいの骨子を話し合った。</p> <p>1月14日(火) 役場政策課が「まちづくり会議」「地域座談会」を実施するため、社協行政連絡調整会議の担当者と政策課が意見交換した。</p> <p>2月4日(火) 福祉のつどいの事業案、ふくしdeまちづくりプロジェクトの計画、セーフティネット会議で出されたケースについて意見交換した。</p> <p>2月7日(金) ふくしdeまちづくりプロジェクト関連図、地域活動への助成、ふくしのつどいについて意見交換した。</p> <p>2月17日(月) ふくしdeまちづくりプロジェクトの関連図・基礎計画、ふくしのつどいについて意見交換した。今後は、町づくり担当の役場政策課に当会議に参加いただくことになった。</p> <p>②地域福祉施策検討会議</p> <p>平成26年</p> <p>1月24日(金) ふくしdeまちづくりプロジェクト、福祉のつどい、公益活動団体助成などについて話し合った。</p> <p>③セーフティネット会議</p> <p>社協内で部門を超えて集まり、個別課題の解決を考察した。</p> <p>9月10日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護二次予防対象者の居場所について ・ 重度障がいの方のケア ・ 重度障がい児のケア ・ 緊急連絡先がない方のこと <p>平成26年</p> <p>1月28日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり暮らし高齢者が鍵を預かってほしいこと ・ 悪質商法と思われる状況に対応したケース ・ 老夫婦が「電話が繋がらなくなった」と近

		<p>所に助けをもとめに行ったケース ※以上の3ケースは2月4日開催社協行政連絡調整会議に報告した。</p> <p>※ 10月11日(金) 北大社で『100才サロン』として実施されている 11月8日(金) 高齢等で一般のサロンに行きにくくなった方でも行けるサロンを見学。だれもがいつまでも参加できるようなサロンをさまざまな場で紹介していくことになった。</p> <p>【今年度の成果】 * 社協行政連絡調整会議・地域福祉施策検討会議を発足したことで行政と小地域福祉活動について具体的に協議し共に推進する体制を作れた。</p> <p>【今後の取り組み】 * 社協行政連絡調整会議・地域福祉施策検討会議を定着させ、実効力のある会議にする。 * 社協行政連絡調整会議を軌道に乗せ、地域福祉推進協議会を発足させる。また、これによりセーフティネット会議は廃止する。</p>
22	車いす・スロープ無料貸出【共】	<p>短期間あるいは緊急に車いす等が必要な方に、最長1か月間無料で貸し出し、在宅生活を支援した。 車いす61件 スロープ3件</p> <p>貸出で得た情報を民生委員に提供し、福祉支援に役立てた。 ・通院 14件 ・買い物 6件 ・一時退院 7件 ・お出かけ 18件 ・旅行 10件 ・その他 6件</p> <p>【今年度の成果】 * 年齢にかかわらず、困ったときに利用できるサービスとしての役割を果たせた。また、当事業を利用する際に得た「困りごと」を民生委員に伝えて地域生活を支えることができた。</p> <p>【今後の取り組み】 * 継続して実施する。</p>
23	福祉用品リサイクル事業「ゆずりはネット」	<p>家庭で使用しなくなった福祉用品を譲りたい方と譲ってほしい方の橋渡しをして福祉用品の効果的な給付を促進、廃棄物の減量化を図った。 登録 2件</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】 * 25年度で廃止 * 東員町クリーン作戦委員会が行っているリサイクルバンク事業を紹介する。</p>
24	地域権利擁護事業	<p>日常生活上の判断が困難な高齢者などに、本人との契約により日常の金銭管理、必要な手続きや利用料の支払いなどについて同行や代行により支援した。 利用者 4名 生活支援員2名(男性1名・女性1名)</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】 * 自分らしく安心して生活できるよう、必要なときには地域福祉権利擁護事業を利用できるよう広報する。</p>
25	日常的金銭管理サービス事業	<p>判断能力があるが身体機能が低下している高齢者に、金融機関手続きの代行を行った。 利用者数1名 支援回数3回</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】 * 自分らしく安心して生活できるよう、必要なときには当事業を利用できるよう広報する。</p>
26	権利擁護に係るニーズの分析	<p>平成26年1月28日(火) 悪質商法と思われる状況にヘルパー、ケアマネージャーが対応した件をセーフティネット会議で話し合い、民生委員に周知することに</p>

		した。 【今年度の成果と今後の取り組み】 * 社協行政連絡調整会議を軌道に乗せ、地域福祉推進協議会を発足させて、そこで権利擁護にかかる暮らしにくさを検討する。																
27	27. 資金貸付 【県社協-受託含む】	<p>経済的自立に不安がある方に、資金の貸し付け相談対応、借入申請、償還指導等を行った。</p> <p>① 利用相談 13件</p> <p>② 調査委員会 7月12日(金) 福祉費の申請 11月1日(金) 障がい者自動車購入費の申請</p> <p>③ 貸付決定 福祉費 94,000円 緊急小口資金 100,000円</p> <p>④ 滞納者面談 5月9日(木) 就学援助の申請を支援</p> <p>⑤ 貸付状況</p> <table border="0"> <tr> <td>福祉費</td> <td>2件</td> <td>緊急小口資金</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>教育支援資金</td> <td>5件</td> <td>総合支援資金</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>⑥ 償還率</p> <table border="0"> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>0%</td> <td>教育支援資金</td> <td>99.09%</td> </tr> <tr> <td>福祉資金</td> <td>100%</td> <td>緊急小口資金</td> <td>11.86%</td> </tr> </table> <p>【今年度の成果】 * 他制度の利用申請を援助し経済的自立を支援できた。 【今後の取り組み】 * 生活保護受給までの生活費の工面にかかる貸付が目立つので、助けあい資金を改善する。</p>	福祉費	2件	緊急小口資金	7件	教育支援資金	5件	総合支援資金	1件	総合支援資金	0%	教育支援資金	99.09%	福祉資金	100%	緊急小口資金	11.86%
福祉費	2件	緊急小口資金	7件															
教育支援資金	5件	総合支援資金	1件															
総合支援資金	0%	教育支援資金	99.09%															
福祉資金	100%	緊急小口資金	11.86%															
28	民生委員児童委員協議会との連携による地域福祉の推進及び助成	<p>① 地域福祉の推進 9月1日(日) 災害時要援護者台帳登録者に対する個別訪問活動 9月11日(水) 戸別訪問で把握した課題を共有し考察する会議</p> <p>② 事務局 民生委員児童委員協議会と事務委託契約を結び運営を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会・役員会・研修の開催支援 ・ 会計 ・ 広報発行の支援 ・ 花鉢配布など自主事業・地域活動・分野別活動の支援 ・ 高齢者の実態把握・相談支援への助言等 ・ 運営助成/助成金2,661,800円 <p>【今年度の成果】 * 戸別訪問により普段聞き取れない暮らしにくさを把握した。収集した困りごとを民生委員で話し合い、地域座談会に発展させた。 【今後の取り組み】 * ひとり暮らし高齢者の困りごと把握して分析し、地域福祉推進に民生委員が果たす役割を考察する。 * ふくしdeまちづくりプロジェクトでの地域住民の推進役を担う。</p>																
29	当事者団体等の育成支援	<p>① 東員町遺族会 ・ 活動助成/310,000円 ・ 三重県及び東員町戦没者追悼式の開催協力・参加支援 ・ 役員会の開催支援</p> <p>② 東員町障がい児(者)を守る会 ・ 活動助成/100,000円 ・ 役員会への参加 ・ 事業報告、決算、ボランティア募集等の広報支援</p> <p>③ みんなでやろまい会(12月以降「東員障がい児者友の会」へ改称) ・ 座談会やカラオケ&茶話会の開催、広報発行の支援</p>																

		<ul style="list-style-type: none"> ・デンパークへの旅開催支援 ・組織化にむけた会則整備等の事務支援 ・設立総会の開催支援 ・活動助成/48,640円 <p>④東員町母子寡婦福祉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会、交流会の開催支援(交流会は申込がなく流会) ・会員募集、入会受付等運営を支援した <p>⑤東員町シニアクラブ連合会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会・企画委員会・各種スポーツ大会・研修会の開催支援 ・広報発行の支援 ・子育て支援「おでかけ広場」の運営参画支援 ・社会奉仕活動、友愛訪問活動・介護予防教室等の開催支援 ・東員町高齢者のつどいの開催支援(共催) 日時/10月4日(金) 13:00~16:30 場所/東員町総合文化センター 来場者数/706名 ・第9回東員町シニア文化作品展の開催支援(共催) 日時/9月27日(金)~10月6日(日) 場所/東員町総合文化センター 出展者数/74名 来場者数/443名 <p>【今年度の成果と今後の取り組み】</p> <p>* 今後も各団体が地域で活動するために支援する。</p>
30	子育て支援事業 【共】	<p>子育て親子が自由で気軽に集える場を実施した。地域開催を見据えてボランティア・関係機関と協働で事業展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先/子育て支援ネット ・東員子育て支援ネット定例会の開催支援 ・子育て応援ルームの運営支援 毎週月曜日・水曜日 10:00~15:00 参加登録者/78名 ・子育てイベント 延べ140組の参加 ・主な内容/リズム遊び、七夕会、マジックショー、救命講習、ハンドベルコンサート、子ども服X-changeなど <p>【今年度の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 委託先が自由な発想で様々な種類のイベントを実施し、参加者が増えた。 * 子育て中の母親同士のつながりができた。 <p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 子育て親子が自由で気軽に集える場を地域でも提供できるようにする。

Ⅲ. 地域を支える人づくり・生きがいづくり

【共】 = 共同募金配分金事業

実施項目	概要
1 シニアカレッジ	<p>一般高齢者を対象に6月から3月までの月1回、東員町長・町議会議長等の講演や地域デビューの仕方等の講義を実施、地域リーダーやボランティアなどの人材を育成した。 参加登録者/34名</p> <p>【今年度の成果】 * 人材育成に力点をおいて事業展開した。</p> <p>【今後の取り組み】 * 福祉に関心のある人材を輩出する内容にする。</p>
2 介護予防事業 【町-受託】	<p>『健康塾』として一般高齢者を対象に5月から翌年3月まで毎月1回様々なプログラムを提供した。「生きがい」「友人・知人」づくりと同時に、①介護予防ボランティア②介護予防に資する地域活動を啓発した。</p> <p>主な内容/地域活動で役立つラジオ体操の習得、ウォーキング大会の企画・実践、介護保険の仕組み習得など 参加登録者/68名</p> <p>【今年度の成果】 * 個人の健康維持だけでなく、人材育成、地域活動に力点をおいて事業展開した。 * 卒塾者が活動する機会の確保について行政担当課と協議できた。</p> <p>【今後の取り組み】 * 健康維持にかかる地域活動ができる人材を育成する内容にする。 * 行政が介護予防推進員(仮称)を創設したら推進員としての活動を推奨する。</p>
3 看取り介護の啓発・講演会	<p>在宅で看取りができること、地域で生きることができることを情報提供した。</p> <p>1月17日(金) エンディングノートの講習 講師/ 三重成年後見サポートセンター 三沢圭先生 参加/41名</p> <p>3月14日(金) 在宅で過ごす終末期について学ぶ 講師/ 福本美津子先生 参加/41名</p> <p>【今年度の成果】 * 在宅での看取りが可能であること、自分自身で最期を決めることに関する講義を行った。</p> <p>【今後の取り組み】 * 在宅で看取りができることを周知し、「地域で生きる」意義を啓発する。</p>
4 地域住民のたまり場	<p>住民同士のつながりを作ることによって支え合いを促すことを目的に、住民が地域で交流する場や、困りごとを住民で話し合える場の立ち上げを支援した。</p> <p>① 経過</p> <p>6月3日(月) 共同募金委員会内審査委員会において、地域福祉活動基盤整備事業(案)について協議</p> <p>6月17日(月) 共同募金委員会において、地域福祉活動基盤整備事業(案)について協議</p> <p>7月24日(水) 地域福祉活動基盤整備事業(修正案)の骨子を総務福祉係で最終確認</p> <p>8月12日(月) 共同募金委員会内審査委員会において、修正案を協議</p> <p>8月19日(月) 共同募金委員会において修正案を協議</p> <p>9月5日(木) 社協行政連絡調整会議において情報共有</p>

	10月2日(水)	総務福祉係で進め方について検討
	②地域座談会	
	9月18日(水)	モデル地区(中上)で第1回座談会を開催 参加者/自治会長、シニアクラブ会長・副会長・会計・女性部長、民生委員、社協
	10月18日(金)	中上地区第2回座談会 主な内容/社協のオモイ発表、それぞれの活動状況を共有、次回の開催にむけて
	10月19日(土)	モデル地区(笹尾東4丁目)で第1回座談会を開催 参加者/自治会長、自治会役員、民生委員 主な内容/顔合わせ、これからの取り組み方
	11月20日(水)	中上地区第3回座談会 主な内容/今後の座談会のあり方
	12月14日(土)	笹尾東4丁目地区第2回座談会 参加者/自治会長、自治会役員、民生委員、サロン代表、子ども会役員 主な内容/地域で気になる人はどんな人か、どんな支援が必要か、見守りについて
	平成26年	
	1月22日(水)	中上地区第4回見守り会議を開催(※今回から会議名称を変更) 主な内容/これまでの総ふりかえり
	2月8日(土)	笹尾東4丁目地区第3回座談会 参加者/自治会長、自治会役員、民生委員、サロン代表、子ども会役員 主な内容/地域で気になる人はどんな人か、自治会について、見守りについて
	3月5日(水)	中上地区第5回見守り会議 主な内容/今後にむけた意思確認
	③災害時要援護者台帳登録者に対する個別訪問活動	
	8月27日(火)	活動参加者(民生委員・社協職員)間で活動の目的、方法等を共有
	9月1日(日)	東員町総合防災訓練と連動して、笹尾東小学校区で活動を実践。 訪問45件(うち不在13件)・未実施3件(民生委員欠席のため)
	9月11日(水)	活動参加者(民生委員・社協職員)間で、ふりかえり会議を開催 ※以降は、今回を契機に自治会別の見守り活動開始にむけた働きかけへ移行
	【今年度の成果】	
	* 2つの地区で地域座談会を開始した。	
	【今後の取り組み】	
	* 中上・笹尾東4丁目の座談会を継続し新たな参画者を取り込む。	
	* 地域を知るきっかけとして顔合わせ交流を開始する。	
	神田地区 1カ所	
	ネオポリス地区 1カ所	
5	災害ボランティアセンター研修事業	平時・有事問わず支え合い活動(地域福祉活動)をみんなで実践することを目的に、25年度は支え合い意識を啓発することを重点的に取り組んだ。 ①企画 7月24日(水) 25年度企画原案の策定 7月26日(金) 地域福祉課、危機管理課へ説明、以降随時調整

		<p>11月7日(木) 住民参画による第1回企画会議の開催 12月12日(木) 第2回企画会議の開催 平成26年 1月17日(金) 第3回企画会議の開催 2月14日(金) 第4回企画会議の開催 ②ボトムアップの啓発活動 啓発物品(ティッシュ)に啓発チラシを挟み込み、町内各所の暮らしに身近な場所(スーパー)で配布。 平成26年 3月11日(火) ホクセイスーパー東員店 3名参加 3月13日(木) ラッキーマート東員店 2名参加 3月17日(月) サンシ桑名店 1名参加 3月25日(火) ピアゴ東員店 1名参加 3月29日(土) イオンモール東員 15名参加 ③見て!聞いて!ふれあって!福祉ふれあい体験祭 3月29日(土) 11:00~16:00 ・ 場所/イオンモール東員 ・ 内容/体験コーナー(車椅子、高齢者疑似、アイマスク、パルーンアート)、クラウンショー、パネル展示、メッセージボード、AED講習、災害ゲームなど ・ 協力団体/東員町民生委員児童委員協議会、防災ネットとういん、(社福)健和会パークレジデンス、(社福)いずみ、東員障がい児者友の会</p> <p>【今年度の成果】 * 町民・民生委員・福祉事業所連絡会、要援護当事者と当事業を企画することを通して地域福祉への関心をもつ人を増やすことを考えることができた。</p> <p>【今後の取り組み】 * 災害ボランティアセンターのあり方について様々な立場の人と協議し、災害ボランティア及びボランティアコーディネーターの養成を企画実施する。</p>
6	住民の地域や福祉に対する関心を高めるプログラムの検討	<p>福祉の理念を伝える仕組みや、住民が福祉や地域で起きている様々な出来事に関心を寄せるきっかけづくりを検討した。</p> <p>① 7月2日(火) 福祉教育の必要性を確認し、方針を協議 「助けて」といえる地域をめざすことになった。</p> <p>② 9月10日(火) 社協職員が地域で説明会や介護予防事業を行う際や『ふくしのわ』で町内にある先進的事例を紹介することにした。</p> <p>【今年度の成果】 * 全部門が地域福祉を意識して事業展開できるようになった。</p> <p>【今後の取り組み】 * 世代にかかわらず多くの住民に地域の福祉向上に関心をもってもらうよう、つどいの開催、広報紙、ホームページ等で働きかける。</p>

IV. 地域福祉の基盤づくり

【共】＝共同募金配分金事業

実施項目	概要														
<p>1 「ふくしのわ」の発行</p>	<p>東員町における地域福祉活動の紹介、社会福祉、ボランティア活動等の情報提供を目的に全戸へ年4回発行した。(発行部数8,100部)</p> <table border="1" data-bbox="523 315 1378 786"> <thead> <tr> <th data-bbox="523 315 647 349">発行日</th> <th data-bbox="647 315 1378 349">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="523 349 647 461">4月19日</td> <td data-bbox="647 349 1378 461">表紙 シニアカレッジ 内容 新役員紹介 平成25年度事業計画 健康塾 社協会費・赤十字社費 他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="523 461 647 573">7月5日</td> <td data-bbox="647 461 1378 573">表紙 地域にお出かけ 内容 平成24年度事業報告・決算 権利擁護事業 社協特別会費 勤労体験学習 他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="523 573 647 685">10月4日</td> <td data-bbox="647 573 1378 685">表紙 飛龍東員太鼓 内容 共同募金 ゆずりはネット 在宅介護者の集い 介護タクシー 会費社費 母子寡婦通信 他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="523 685 647 786">平成26年 1月17日</td> <td data-bbox="647 685 1378 786">表紙 三和小6年生鼓笛演奏 内容 一中アラスパト'部 二中勤労体験 功労者表彰 福祉車両寄贈 地域の活動紹介 他</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今年度の成果】 * 社協活動を広く伝えることができた。</p> <p>【今後の取り組み】 * 地域の課題や取り組みを住民に発信することで、小地域福祉活動の取り組みを加速化する。</p>	発行日	内 容	4月19日	表紙 シニアカレッジ 内容 新役員紹介 平成25年度事業計画 健康塾 社協会費・赤十字社費 他	7月5日	表紙 地域にお出かけ 内容 平成24年度事業報告・決算 権利擁護事業 社協特別会費 勤労体験学習 他	10月4日	表紙 飛龍東員太鼓 内容 共同募金 ゆずりはネット 在宅介護者の集い 介護タクシー 会費社費 母子寡婦通信 他	平成26年 1月17日	表紙 三和小6年生鼓笛演奏 内容 一中アラスパト'部 二中勤労体験 功労者表彰 福祉車両寄贈 地域の活動紹介 他				
発行日	内 容														
4月19日	表紙 シニアカレッジ 内容 新役員紹介 平成25年度事業計画 健康塾 社協会費・赤十字社費 他														
7月5日	表紙 地域にお出かけ 内容 平成24年度事業報告・決算 権利擁護事業 社協特別会費 勤労体験学習 他														
10月4日	表紙 飛龍東員太鼓 内容 共同募金 ゆずりはネット 在宅介護者の集い 介護タクシー 会費社費 母子寡婦通信 他														
平成26年 1月17日	表紙 三和小6年生鼓笛演奏 内容 一中アラスパト'部 二中勤労体験 功労者表彰 福祉車両寄贈 地域の活動紹介 他														
<p>2 ホームページの運営</p>	<p>情報をより迅速かつ多くの住民に提供することを目的に、ホームページを運営した。 閲覧件数156,674件</p> <p>【今年度の成果】 * 社協活動を広く伝えることができた。</p> <p>【今後の取り組み】 * 地域の課題や取り組みを住民に発信することで、小地域福祉活動の取り組みを加速化する。</p>														
<p>3 福祉のつどい</p>	<p>誰もがつながりの中で生きることが出来る支え合いの「心」と「仕組み」を、地域のみんがが主体となって考え、行動し、作り上げていく環境(意識)を醸成していくことを目的に、映画「うまれる」上映会&オモイを分かち合うワークショップを開催した。</p> <p>3月21日(金・祝) 9:30~12:30 ・場所/イオンモール東員 イオンホール ・参加/169名</p> <p>【今年度の成果】 * 世代、障がいの有無に関係なく誰もが同じ場を共有し、交流を深めあうことができた。</p> <p>【今後の取り組み】 * 多様性を地域に受け入れ共に暮らしていく機運を醸成することを目的に参加型セミナーを開催する。</p>														
<p>4 東員町ふれあいセンターの管理運営に対する協力</p>	<p>25年度から行政直営へ移行された後も、引き続き利用者が快適に施設を利用できるように行政(センター管理者)に協力した。</p> <table border="1" data-bbox="486 1805 1418 2058"> <tbody> <tr> <td data-bbox="486 1805 890 1839">① 平成25年 5月19日(日)</td> <td data-bbox="890 1805 1418 1839">配管洗浄、館内清掃</td> </tr> <tr> <td data-bbox="486 1839 890 1872">② 平成25年 6月10日(月)</td> <td data-bbox="890 1839 1418 1872">消防設備等点検</td> </tr> <tr> <td data-bbox="486 1872 890 1906">③ 平成25年 7月11日(木)</td> <td data-bbox="890 1872 1418 1906">館内空調故障による業者への連絡</td> </tr> <tr> <td data-bbox="486 1906 890 1939">④ 平成25年12月15日(日)</td> <td data-bbox="890 1906 1418 1939">館内清掃</td> </tr> <tr> <td data-bbox="486 1939 890 1973">⑤ 平成26年 1月27日(月)</td> <td data-bbox="890 1939 1418 1973">水漏れによる水道工事</td> </tr> <tr> <td data-bbox="486 1973 890 2007">⑥ 平成26年 2月12日(水)</td> <td data-bbox="890 1973 1418 2007">消防設備等点検</td> </tr> <tr> <td data-bbox="486 2007 890 2058">⑦ 平成26年 2月25日(火)</td> <td data-bbox="890 2007 1418 2058">貯水槽・貯湯槽清掃</td> </tr> </tbody> </table>	① 平成25年 5月19日(日)	配管洗浄、館内清掃	② 平成25年 6月10日(月)	消防設備等点検	③ 平成25年 7月11日(木)	館内空調故障による業者への連絡	④ 平成25年12月15日(日)	館内清掃	⑤ 平成26年 1月27日(月)	水漏れによる水道工事	⑥ 平成26年 2月12日(水)	消防設備等点検	⑦ 平成26年 2月25日(火)	貯水槽・貯湯槽清掃
① 平成25年 5月19日(日)	配管洗浄、館内清掃														
② 平成25年 6月10日(月)	消防設備等点検														
③ 平成25年 7月11日(木)	館内空調故障による業者への連絡														
④ 平成25年12月15日(日)	館内清掃														
⑤ 平成26年 1月27日(月)	水漏れによる水道工事														
⑥ 平成26年 2月12日(水)	消防設備等点検														
⑦ 平成26年 2月25日(火)	貯水槽・貯湯槽清掃														

		<p>⑧ 平成26年 2月26日(水) 停電を伴う電気設備点検 貸し館手続き 414 件 日直 50 回 浴槽の塩素濃度測定 310 回</p> <p>【今年度の成果と今後の取り組み】 * 管理者(地域福祉課)に協力する。</p>
5	ボランティア市民活動支援センター運営支援	<p>25年度から行政に移管されたが、フリースペースの運営及び資機材の管理、備品の貸出、ボランティア保険業務を引き続き主務するとともに、オブザーバーとしてセンター運営に協力した。</p> <p>①フリースペースの運営 印刷機、コピー機の利用やミーティングスペースの提供など</p> <p>②備品及び図書の貸出</p> <p>③ボランティア保険の加入受付及び事故対応 加入実績/A442名 B45名 天災A43名 天災B3名 行事4件 事故対応/2件</p> <p>④センター新規登録の仲介/3団体</p> <p>⑤活動上の相談受付(※団体については代行)</p> <p>⑥第3期運営委員会の立上協力と委員会への参加</p> <p>⑦登録団体代表者会議、とういんわくわくフェスタの開催支援</p> <p>⑧広報発行・編集支援</p> <p>⑨三重ボランティア基金チャリティーボーリング大会の開催協力</p>
6	ポイント制ボランティア制度構築の準備	<p>26年度からのポイント制ボランティア制度開始に向けて協議をした。</p> <p>行政との協議経過 5月22日(水) 長寿福祉課と制度の目的及び今後の立案スケジュールを確認 8月7日(水) 長寿福祉課と制度の概要(素案)を協議</p> <p>【今年度の成果】 * 行政と協議し、ポイント制ボランティア制度の実施準備を進めた。平成26年度から運営開始する。</p> <p>【今後の取り組み】 * ポイント制ボランティアを契機に地域に関心を持っていただくよう、また、ボランティア活動している方には新しい分野の活動に参加していただけるようにする。</p>
7	公益活動団体(ボランティア・市民活動団体など)に対する活動助成事業	<p>町内に拠点を置いて活動する公益活動団体に対し、具体的な事業に要する経費の一部を助成した。</p> <p>申請受付/平成25年5月20日～6月7日 個別ヒアリング/平成25年6月12日</p> <p>助成結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すずらんの会/15,000円 ・NPO法人地域お助けネット/20,000円 ・笹尾西3丁目自主防犯パトロール隊/4,600円 ・東員点訳友の会/14,000円 ・朗読ひばりの会/96,000円 ・いなべ地区視覚障害者協会/42,000円 ・東員健康づくりいきいき隊/5,000円 ・NPO法人生ごみリサイクル思考の会/62,000円 ・防災ネットとういん/56,000円 ・子の会/14,000円 ・劇団員弁川/50,000円 ・ガールスカウト三重県第12団/43,000円 ・東員町障がい児者親の会/16,000円 ・稲部小学校安全ボランティア会/49,000円 ・NPO福祉ネットどんぐり/64,000円 <p>上記のほか、申請却下1団体・申請辞退1団体</p>

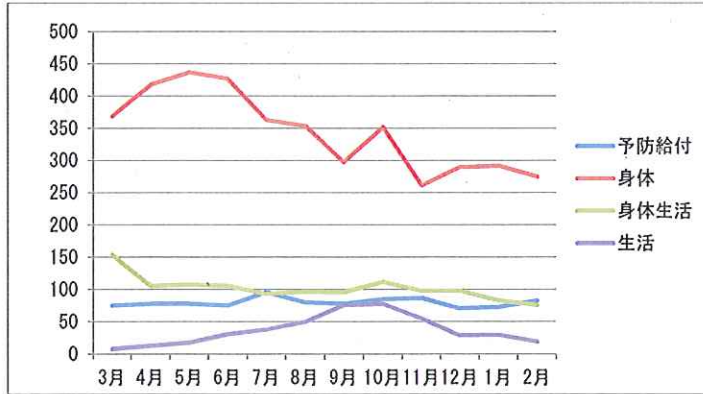
		<p>【今年度の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 事業に対して助成して活動を支援した。 <p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 地域福祉活動への取り組みに対して助成する。 * 東員町ふれあいセンター内に事務作業応援コーナーを設置し、活動を促進する。
8	町内福祉事業所連絡会議の開催	<p>町内福祉事業所間の情報交換と事業所職員の資質向上を図ることを目的に研修会を開催した。</p> <p>① 長寿福祉課と協議 5月9日(木) 5月22日(水)</p> <p>② 運営会議 あり方検討委員会在宅福祉分科会に参加いただいた福祉事業所5社に集まっていただき運営会議を開催した。 参加事業所/ もも 紫苑 パークレジデンス 愛和ノ住まい なでしこ 8月21日(水) 会の目的、事業内容を検討した。 9月17日(火) 今年度の事業計画を決定した。 10月18日(金) 来年度事業を決定した。</p> <p>③ 音楽療法体験講習会 11月21日(木) 14:00~17:00 場所/保健福祉センターホール 講師/名古屋芸術大学 久保田進子先生 内容/音楽療法の理論を体験、座談会 参加/29名(16事業所)</p> <p>【今年度の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 連絡協議会設立に向けた準備会議を行い、発足の基礎を作れた。 <p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 東員町福祉事業所連絡協議会について事業所へ周知し設立総会を実施する。
9	障がい者(児)の地域生活に関する学習	<p>① 重度障がい者(児)の地域生活を支えるための研修 福祉事業所連絡会議で開催を検討し実施した。 平成26年1月15日(水) 講師/北勢きらら学園 長野文昭先生 参加/27名</p> <p>② 東員町障がい児者のつどい 「一人ひとりが輝くために、みんなの想いを分かち合おう！」をテーマに、東員障がい児者友の会及び東員町、「美し国おこし・三重」実行委員会と共催した。 平成26年3月16日(日) 9:30~12:30 場所/東員町保健福祉センターホール 内容/映画(LIGHT UP NIPPON)上映会&交流会 参加/66名</p> <p>【今年度の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 障がい児の卒業後の地域生活を具体的に学ぶことができた。 <p>【今後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 地域の課題への気づきを助長するため、重度障がい者(児)の地域生活を学ぶ学習会を行う。
10	共同募金委員会の活動支援及び助成	<p>赤い羽根共同募金運動の実施主体である共同募金委員会の事務局として、町民及び町内企業等に対し、赤い羽根共同募金運動への参画を求めるとともに、委員会の運営に対する助成を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営助成/助成金114,013円交付 ・共同募金委員会・審査委員会・運営委員会の開催 ・自治会へ戸別募金運動について、商工会へ法人、職域、街頭募金運動について協力を依頼した。 ・10/1~12/31町内各地で赤い羽根共同募金運動を展開 実績/3,857,348円(目標額3,689,300円 達成率104.6%)

	戸別募金／3,062,072円 (6,128戸) 街頭募金／28,842円 (27箇所) 法人募金／506,000円 (48社) 職域募金／16,668円 (10社) イベント(興行)募金／227,908円 (11件) 個人募金／15,817円 (2名) 預金利息／41円
11	日本赤十字社社費増強運動の実施 日本赤十字社東員分区事務局として、日本赤十字社活動の普及啓発と社費加入について町民の理解と協力を求めた。また、町行事に救護要員(看護師)の派遣を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/1～5/31 赤十字運動月間 実績2,962,323円 ・ 5/8三岐鉄道穴太駅・東員駅で啓発活動 400人にPRティッシュを頒布 ・ 救護要員派遣手続き 2件 ・ 災害救援物資の支給 2件 【今年度の成果と今後の取り組み】 * 災害時の支援と日本赤十字社活動の理解の促進を図る。

訪問介護事業 介護予防訪問介護事業

サービス提供状況
件数 月別

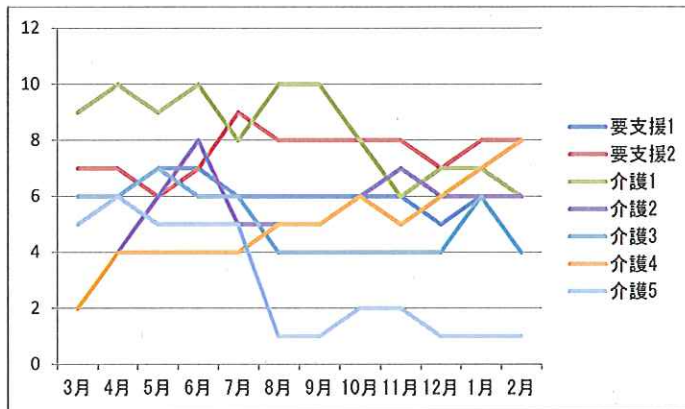
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
予防給付	75	78	78	75	96	80	78	85	87	71	73	83	959
身体	369	418	437	427	363	354	298	352	262	290	292	275	4137
身体生活	154	106	108	106	93	97	96	112	98	98	83	76	1227
生活	8	13	18	31	38	50	76	78	55	29	30	19	445
合計	606	615	641	639	590	581	548	627	502	488	478	453	6768



利用者の状況

人数

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
要支援1	6	6	7	7	6	6	6	6	6	5	6	6	73
要支援2	7	7	6	7	9	8	8	8	8	7	8	8	91
介護1	9	10	9	10	8	10	10	8	6	7	7	6	100
介護2	2	4	6	8	5	5	5	6	7	6	6	6	66
介護3	6	6	7	6	6	4	4	4	4	4	6	4	61
介護4	2	4	4	4	4	5	5	6	5	6	7	8	60
介護5	5	6	5	5	5	1	1	2	2	1	1	1	35
合計	37	43	44	47	43	39	39	40	38	36	41	39	486



登録ヘルパーミーティングを毎月1回行い、ヘルパーの資質向上をはかった。

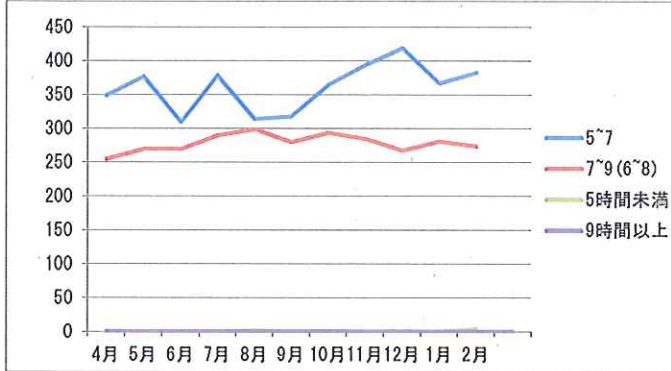
開催日	テーマ	参加人数
3月28日(木)	社協の事業計画について、局長から説明を受ける	13
4月25日(木)	「シニアハウスみどりの丘」「愛和ノ住まい笹尾」見学	9
5月30日(木)	福祉課中川氏より東員町の高齢者福祉について講義	12
6月27日(木)	伊藤係長より住民が地域で暮し続けるためのサービスと仕組みについて講義を受ける	13
7月25日(木)	介護予防ジム、クオプラス見学	9
8月29日(木)	在宅で介護する時のちょっとしたヒント「排泄」について	12
9月26日(木)	在宅で介護する時のちょっとしたヒント「入浴」について	11
10月31日(木)	介護付有料老人ホーム「ハーモニーハウスいなべ」見学	10
11月28日(木)	冬の感染症について、一年間のヘルパー支援を振り返る	12
1月30日(木)	入浴中の急病事故の実態と予防について	12
2月27日(木)	訪問介護のサービス内容について	10

通所介護事業 介護予防通所介護事業

通所介護サービス提供状況

介護給付	月別 件数												合計
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
5~7	333	349	377	310	379	314	318	365	394	419	367	383	4308
7~9(6~8)	220	255	270	270	290	299	280	294	285	268	281	274	3286
5時間未満	3	1	0	0	0	2	0	1	0	1	0	4	12
9時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	556	605	647	580	669	615	598	660	679	688	648	661	7606

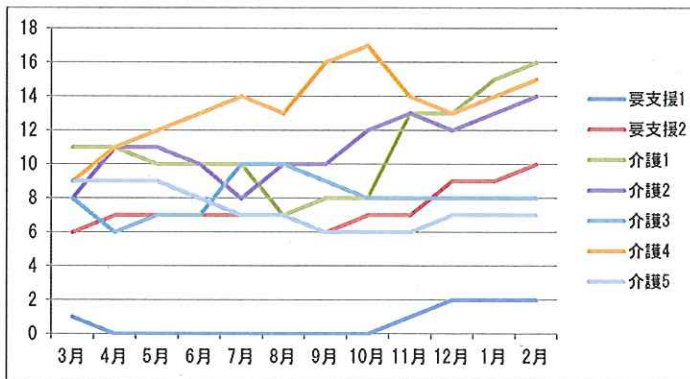
※6~8時間 568件。(内訳：軽度0件、中度236件、重度332件)



利用者の状況

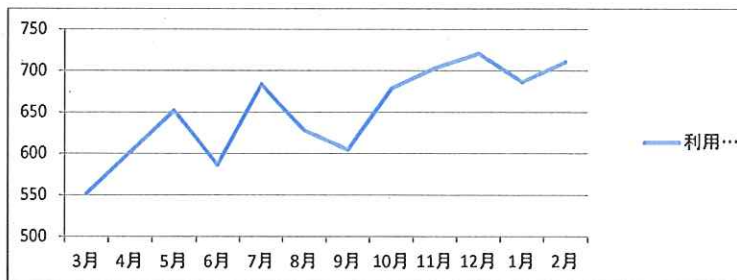
人数

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
要支援1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	8
要支援2	6	7	7	7	7	7	6	7	7	9	9	10	89
介護1	11	11	10	10	10	7	8	8	13	13	15	16	132
介護2	8	11	11	10	8	10	10	12	13	12	13	14	132
介護3	8	6	7	7	10	10	9	8	8	8	8	8	97
介護4	9	11	12	13	14	13	16	17	14	13	14	15	161
介護5	9	9	9	8	7	7	6	6	6	7	7	7	88
合計	52	55	56	55	56	54	55	58	62	56	68	72	707



リハビリ加算サービス提供状況

利用人数	月別 件数												合計
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
	552	602	652	587	684	628	605	679	704	721	687	711	7812

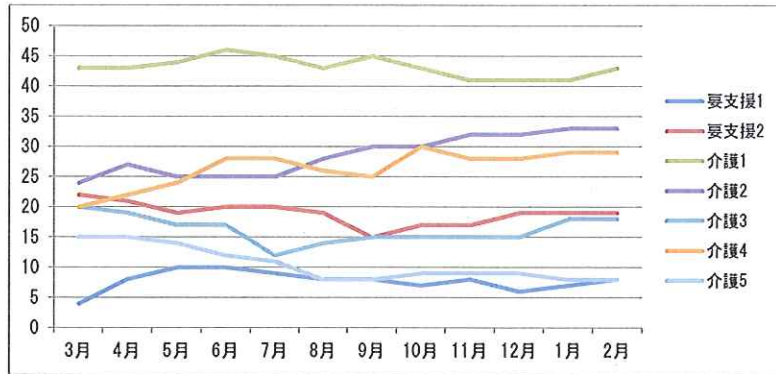


居宅介護支援事業所

利用者の状況

人数

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
要支援1	4	8	10	10	9	8	8	7	8	6	7	8	93
要支援2	22	21	19	20	20	19	15	17	17	19	19	19	227
介護1	43	43	44	46	45	43	45	43	41	41	41	43	518
介護2	24	27	25	25	25	28	30	30	32	32	33	33	344
介護3	20	19	17	17	12	14	15	15	15	15	18	18	195
介護4	20	22	24	28	28	26	25	30	28	28	29	29	317
介護5	15	15	14	12	11	8	8	9	9	9	8	8	126
合計	148	155	153	158	150	146	146	151	150	150	155	158	1820



毎週水曜日に定例会議を行い、スキルアップを図った。

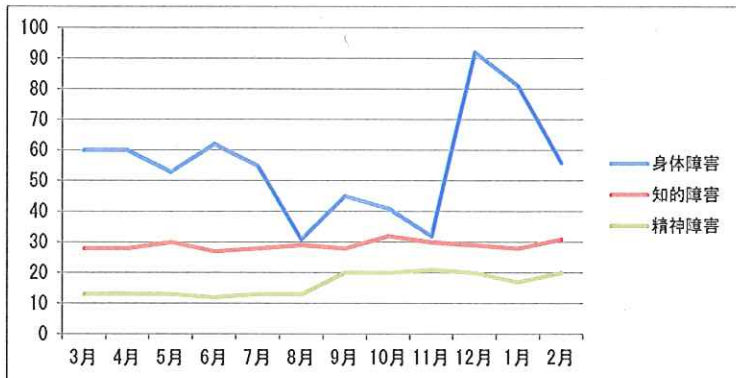
- 処遇困難ケースの対応の検討
- 苦情を受けた時の対応と苦情処理簿の活用
- 緊急時や災害時の対応マニュアルの整備
- 介護保険制度の法令遵守にかかる確認
- 居宅サービス計画書作成過程の紹介
- 保険外ニーズの報告 など

障がい者訪問介護事業

サービス提供状況

月別件数

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
身体障害	60	60	53	62	55	31	45	41	32	92	81	56	668
知的障害	28	28	30	27	28	29	28	32	30	29	28	31	348
精神障害	13	13	13	12	13	13	20	20	21	20	17	20	195
	101	101	96	101	96	73	93	93	83	141	126	107	1211

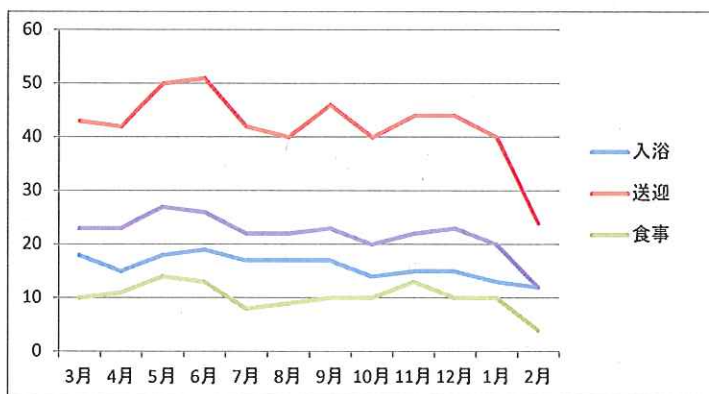


日中一時支援事業

サービス提供状況

月別件数

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
入浴	18	15	18	19	17	17	17	14	15	15	13	12	190
送迎	43	42	50	51	42	40	46	40	44	44	40	24	506
食事	10	11	14	13	8	9	10	10	13	10	10	4	122
利用人数	23	23	27	26	22	22	23	20	22	23	20	12	263



障害者・児の計画相談事業

サービス提供状況

月別件数

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
障害者					1	1	1	1	2	3	5	4	18
障害児													0

